

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2005-335458(P2005-335458A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-154377(P2004-154377)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/42 (2006.01)

B 6 0 R 21/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/42

B 6 0 R 21/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月8日(2007.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

座席シート2を有する車両用シートの背凭シート3の側部は、側突されたとき駆動モータ15により前記背凭シート3の前面よりも前側に突き出す側突サポート機構Sのサポート部25に形成した車両用シート。

【請求項2】

座席シート2を有する車両用シートの背凭シート3の側部には、側突されたとき駆動モータ15により前記背凭シート3の前面よりも前側に突き出す側突サポート機構Sのサポート部25を設けた車両用シート。

【請求項3】

座席シート2を有する車両用シートの背凭シート3の側部にまたは前記背凭シート3の側部の一部は、側突サポート機構Sのサポート部25に形成し、サポート部25は側突されたとき駆動モータ15により背凭シート3の側部から前方に突き出て車両用シート1の着座者Tの横方向の移動を阻止または抑制するように構成した車両用シート。

【請求項4】

請求項1または請求項2または請求項3において、前記側突サポート機構Sは、背凭シート3の骨格フレーム5に固定したステータ7に前方移動可能に前後移動体8を取付けて前記サポート部25を構成し、前記ステータ7には駆動ギヤ17を有する駆動モータ15を設け、前後移動体8には駆動ギヤ17が噛合うラックギヤ19を設け、前記駆動モータ15は、車体の所望位置に設けたレーダ装置Lと、側突が予測されたとき作動するように関連的に接続した車両用シート。

【請求項5】

請求項4において、前記側突サポート機構Sのステータ7と前後移動体8には、夫々に前後方向に長い挿通孔10、11を上下に夫々形成し、該挿通孔10、11の夫々には係合部材12、13を挿通固定し、前後移動体8がステータ7に対して挿通孔10、11と係合部材12、13により案内されて前方移動するように構成した車両用シート。

【請求項6】

請求項1または請求項2または請求項3または請求項4または請求項5において、前記サ

ポート部 25 は、上腕部付近側方の背凭シート 3 に設けた車両用シート。

【請求項 7】

請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 において、前記背凭シート 3 の側面 30 は、平面視において、後側に至るに従い内側に位置するように傾斜させ、この傾斜面により形成される空間、または、背凭シート 3 の側面 30 の所定位置に形成した凹部 31 内にサポート部 25 を位置するように構成した車両用シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、座席シート 2 を有する車両用シートの背凭シート 3 の側部は、側突されたとき駆動モータ 15 により前記背凭シート 3 の前面よりも前側に突き出す側突サポート機構 S のサポート部 25 に形成した車両用シートとしたものである。

本発明は、座席シート 2 を有する車両用シートの背凭シート 3 の側部には、側突されたとき駆動モータ 15 により前記背凭シート 3 の前面よりも前側に突き出す側突サポート機構 S のサポート部 25 を設けた車両用シートとしたものである。

本発明は、座席シート 2 を有する車両用シートの背凭シート 3 の側部にまたは側部の一部は、側突サポート機構 S のサポート部 25 に形成し、サポート部 25 は側突されたとき駆動モータ 15 により背凭シート 3 の側部から前方に突き出て車両用シート 1 の着座者 T の横方向の移動を阻止または抑制するように構成した車両用シートとしたものである。

本発明は、前記側突サポート機構 S は、背凭シート 3 の骨格フレーム 5 に固定したステータ 7 に前方移動可能に前後移動体 8 を取付けて前記サポート部 25 を構成し、前記ステータ 7 には駆動ギヤ 17 を有する駆動モータ 15 を設け、前後移動体 8 には駆動ギヤ 17 が噛合うラックギヤ 19 を設け、前記駆動モータ 15 は、車体の所望位置に設けたレーダー装置 L と、側突が予測されたとき作動するように関連的に接続した車両用シートとしたものである。

本発明は、前記側突サポート機構 S のステータ 7 と前後移動体 8 には、夫々に前後方向に長い挿通孔 10、11 を上下に夫々形成し、該挿通孔 10、11 の夫々には係合部材 12、13 を挿通固定し、前後移動体 8 がステータ 7 に対して挿通孔 10、11 と係合部材 12、13 により案内されて前方移動するように構成した車両用シートとしたものである。

本発明は、前記サポート部 25 は、上腕部付近側方の背凭シート 3 に設けた車両用シートとしたものである。

本発明は、前記背凭シート 3 の側面 30 は、平面視において、後側に至るに従い内側に位置するように傾斜させ、この傾斜面により形成される空間、または、背凭シート 3 の側面 30 の所定位置に形成した凹部 31 内にサポート部 25 を位置するように構成した車両用シートとしたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項 1 および請求項 2 および請求項 3 の発明では、側突サポート機構 S が着座者 T の横方向の移動を確実に阻止または抑制する。

請求項 4 の発明では、簡単な構成で駆動モータ 15 によりサポート部 25 を前方移動させられる。

請求項 5 の発明では、サポート部 25 は確実に前方移動する。

請求項6の発明では、サポート部25は着座者Tを支持すると共に、サポート部25に着座者Tの頭部が衝突するのも避けられ、好適である。

請求項7の発明では、車両用シート1に着座者Tが着座したときに邪魔にならず、クッション性を犠牲にしない。